

朝鮮船入津及譯官行列図（慶應義塾大学文学部古文書室蔵）

小童 鼓 長鼓 笛 柷琴



玄徳潤のお墓（密陽市）



判事茶碗イメージ

入場無料



馬上才図（名護屋城博物館蔵）



玄徳潤の肖像（密陽市）

ユネスコ「世界の記憶」登録7周年！

写真家・仁位孝雄の写真で見る「訳官使&朝鮮通信使」 ～写真展（第37回）& 講演会～

写真展 会期 2024年4月17日（水）～4月30日（火）14日間
（開場時間 9時～21時30分 17日は13時から 30日は13時まで）
場所 長崎市役所 19階 ギャラリーウォール

講演会 日時 2024年4月28日（日）13時30分～15時30分
場所 長崎市役所 2階 多目的スペース
テーマ 「訳官使&朝鮮通信使」 講師 仁位孝雄

後援 長崎市 駐福岡大韓民国総領事館 在日本大韓国民団長崎県地方本部
長崎県日韓親善協会 NPO法人長崎市美術振興会（順不同）

連絡先 仁位孝雄 ☎ 090-7156-8399 〒851-0134 長崎市田中町73-8

ご来場 心よりお待ちしております！



朝鮮通信使副使肖像画（個人蔵）



朝鮮通信使人形（滋賀県五箇荘小幡町）



為政以德印（九州国立博物館蔵）



鳥谷関（閩慶市）



「朝鮮通信使」（一行 450 人前後）は、江戸時代徳川幕府の将軍が襲職した時に、お祝いに朝鮮国王が派遣した使節で江戸時代 12 回来日、内 10 回は、江戸まで、1 回は京都まで、最後の朝鮮通信使は対馬で国書交換が行われた。

「訳官使」（一行 100 人前後）は、対馬藩主が参勤交代等で対馬へ帰国したとき慰労や朝鮮通信使来日に関する打ち合わせ等のため 57 回来島。この間、紆余曲折はありながらも日朝間には平和な時代が続いた。

「朝鮮通信使文書類」は、2017 年 10 月ユネスコの「世界の記憶」に登録された。



東萊府使接倭使図（韓国国立中央博物館蔵）

金石城址（対馬市）



復元朝鮮通信使船（釜山文化財団提供）

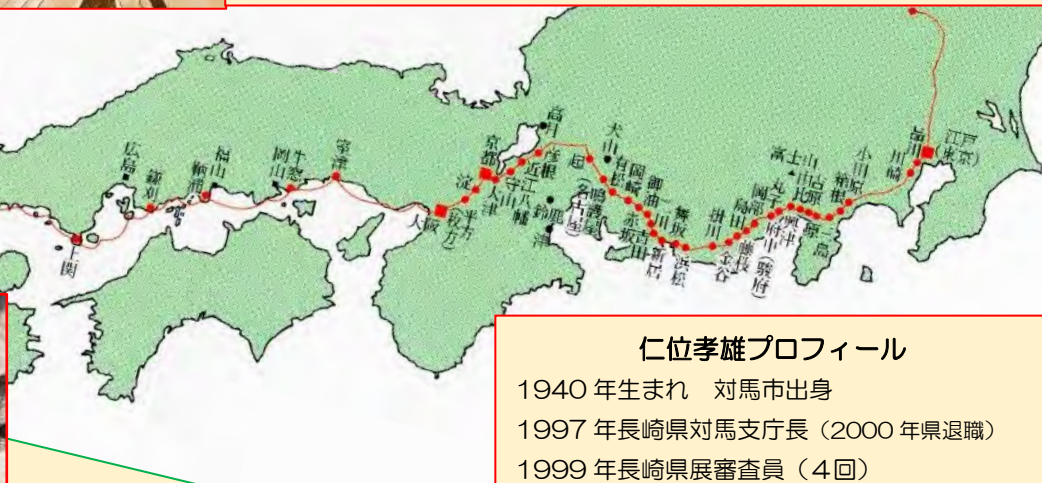
「対馬と長崎の関わり」

江戸時代対馬藩は、現在の十八親和銀行本店の所に「長崎蔵屋敷」を置き、水牛角、胡椒、明礬など買い付け朝鮮に輸出した。また、長崎奉行が取り調べる朝鮮人漂流民はこの蔵屋敷に逗留本国への送還等お世話した。1811 年最後の朝鮮通信使は対馬で国書交換を行い、日本代表の小笠原忠固小倉城主に随行来島した目付・遠山左衛門尉景晋は、翌 1812 年長崎奉行に就任した。

北原雅長（旧会津藩士）は、1889 年（明治 22）市町村制施行後初めての長崎市長選挙に、対馬島庁・島司から立候補当選し初代長崎市長となった。



雨森芳洲肖像画（芳洲会蔵）



玄徳潤の墓前に対馬の玄海ツツジを植栽



朝鮮国信使絵巻（県立対馬歴史民俗資料館蔵）



主屹関（間慶市）



仁位孝雄プロフィール

- 1940 年生まれ 対馬市出身
- 1997 年長崎県対馬支庁長（2000 年県退職）
- 1999 年長崎県展審査員（4 回）
- 2001 年長崎県美術協会理事・監事等歴任
- 2002 年写真集「朝鮮通信使の道」出版
- 2002 年「朝鮮通信使の道」写真展を対馬長崎・釜山・東京・熊本・福岡・埼玉等 36 会場で開催、合せて講演活動等実施中
- 2008 年大韓民国外交通商部長官表彰（大臣）
- 2009 年長崎県民表彰
- 2016 年長崎県美術協会表彰
- 2021 年長崎市教育委員会表彰
- 2022 年対馬市長より感謝状

現在 長崎市美術振興会理事（写真部長）
長崎県美術協会名誉会員
長崎県日韓親善協会会員 長崎楽会会員